

# 校長室犬より 第4号

## 実り多き教育キャンプ in 葛城山

### 全員参加で自主的な行動ができました。

5月13日(月)～14日(火)に山滝中の伝統的な行事の一つの教育キャンプが行われました。天候にも恵まれ計画されていたメニューも全てこなすことができ時間もほとんど予定通りでした。生徒、先生がてきぱきと動いた結果であると思います。

この教育キャンプの目的はいくつかあります。まず集団活動に積極的に参加すること、集団活動のためにルールを守ること、思いやり、ゆずりあいの気持ちをもって活動すること等があげられます。そして全校生徒が参加し、縦割り活動を活用して学校全体でこの教育キャンプに取り組むことも大切な目的であると考えます。前日までの準備と当日の活動を見て、生徒たちは十分に目的を達成してくれた、大きな達成感・満足感を得てくれたと確信しています。



縦割り活動の良いところもたくさん見ました。初日の葛城山登山では3年生の生徒が自分の荷物としんどくなった下級生の荷物を持っていてくれました。また野外炊飯では3年生の指示のもと下級生が安心した様子でカレー作りに取り組んでいました。また、キャンプファイヤーでも3年生が進行を担当し、各学年の趣向をこらした出し物で大いに盛り上がりました。そして次の日の生徒会行事でも執行部を中心に生徒たち自身が考えたゲームで楽しんでくれました。



3年生は上級生としての責任を果たしてくれました。その姿はかっこよかったです。1・2年生は先輩に感謝していることでしょうか。そして自分たちが3年生なったときには同じように下級生に感謝してもらえようような活躍をしたいと思ってくれたことでしょうか。この気持ちが学校全体で教育キャンプを成功させることになります。また今までの先輩が築いてきた「伝統」を受け継ぐことになります。



教育キャンプを通して見えてきた課題もあります。それは先生方、自分たちの代表が全員に対して指示を出しているときの聞く方の態度です。話、指示を無視して勝手に友達としゃべっているということはほとんど0に近いと思います。しかし、まだ指示が続いている中で指示に対する話をしたり、動き出すという姿が何回か見られ、先生から注意を受けていました。指示を最後まで聞き合図とともに動き出すことが活動にメリハリ、けじめをつけることになります。

今回の教育キャンプではたくさんのことを学んでくれたことでしょうか。学んだことをしっかりと自分の心に留めてこれからの学校生活に活かしてください。

令和元年5月17日

岸和田市立山滝中学校

校長 瀧 俊彰